

●クラリネットとピアノのためのソナタ F. プーランク (1899-1963)

プーランクはフランスの作曲家で多くのジャンルに作品を残していますが、特に管楽器を愛好したようで、ほとんどの主要な管楽器のための作品があり、中でもフルートソナタは大変有名です。クラリネットソナタはそれに比べると知名度はありませんが、晩年の1962年にアメリカの有名なジャズクラリネット奏者ベニー・グッドマンの求めに応じて書かれた作品で、1955年に亡くなった友人のフランス人作曲家オネゲルを悼むことを意図していました。第2楽章にそれが表れています。初演はプーランクが亡くなった後、ベニー・グッドマンのクラリネットとバーンスタイン(2曲目の作曲者です)のピアノによって行われました。

第1楽章 *Allegro tristament* 速い楽章ですが、中間にゆっくりな部分を挟みます。

第2楽章 *Romanza* 優しい旋律が聴けます。

第3楽章 *Allegro con fuoco* 速い楽章で、クラリネットは高音が続出です。

<演奏時間 約13分>

●クラリネットとピアノのためのソナタ L. バーンスタイン (1918-1990)

指揮者、教育者などの方面でも多彩な活動をしたバーンスタインの作曲家としての最大のヒット作はミュージカル“ウエストサイドストーリー”ですが、バーンスタイン自身は純音楽の分野で認められたかったようです。交響曲も3曲ありますが、この分野で良く知られているのはキャンディード序曲でしょう。テレビ番組「笑ってこらえて」のBGMとして使われています。クラリネットソナタはカーチス音楽院を卒業した直後の1942年の作品でバーンスタインの最初に出版された作品です。

第1楽章 *Grazioso* 表情記号 *grazioso* 通りの優雅な雰囲気です。

第2楽章 *Andantino-Vivace e leggiero* *Vivace*の速い部分(5/8拍子)の途中に *Lento*の遅い部分が挟まれます。

<演奏時間 約11分>

●歌劇「リゴレット」の旋律による演奏会用幻想曲 L. バッシ (1833-1871)

バッシはイタリアのミラノ・スカラ座管弦楽団の首席クラリネット奏者だった人です。この曲はイタリアのオペラ作曲家ヴェルディ(1813-1901)の歌劇「リゴレット」の中の旋律を基にバッシが書いたものです。使われている曲は前奏曲、第4幕の「美しいおとめよ」、第2幕の「慕しい人の名は」、第3幕の「ほおの涙が」などです。優雅な部分と技巧を凝らした部分が織り交ぜられ、最後は超絶技巧を聴かせて終わります。

<演奏時間 約15分>

●ガーシュウィン!!! G. ガーシュウィン (1898-1937)

ピアノと管弦楽のための作品「ラプソディーインブルー」で知られるアメリカの作曲家ガーシュウィンの主な活躍分野はミュージカルやフォークオペラです。代表作「ポーギーとベス」の中の歌曲「サマータイム」は良く知られていますね。今回の曲「ガーシュウィン！」はガーシュウィンの旋律を基にしてカルボナーレが自由に創造した（する）作品で、共演者の黒田さんのお話では“カルボナーレがその都度コンポーズして、どのようなメロディーが出てくるかは分かりません”とのことでした。

<演奏時間 その都度異なるので未定>

●蜂 A. パスクッリ (1842-1924)

パスクッリはオーボエの名手として知られたイタリア人です。元々はオーボエのための作品である「蜂」には性格的練習曲という副題がついており、蜂の飛び回る様子を模した細かい動きが途切れることなく続きます。オーボエで演奏するのでも至難な技であるこの曲を、オーボエよりも息を必要とするクラリネットで吹くためにカルボナーレは循環呼吸という高度な技法を使っています。循環呼吸の原理は口で吐くのと同時に鼻で吸うという単純なことです。実行するのは大変です。

<演奏時間 約5分> (この間、無音の時間があるのは最初の20秒の間の数回だけ、後は最後まで休符無し)

●FZ フォー・アレックス F. ザッパ (1940-1993) / 編曲 A. チェンナ

アメリカの鬼才ロックピアニストであったフランク・ザッパ (1940-1993) の曲をA. チェンナ (不詳) がカルボナーレのために編曲しました。タイトルはアレックス (カルボナーレの名前アレッサンドロの愛称) のためのFZ (Frank Zappa) という意味です。使われている曲は「インカ・ローズ」、「ピーチズ・エン・レガリア」などです。急緩急の3部分から成り、後半の急速な部分ではクラリネット以外の音も聞こえてきます。曲の最終部分の超絶技巧 (ピアノも含めて) には驚くばかりです。

<演奏時間 約9分>

●ショレム・アレイヘム、ロブ・ファイドマン! B. コヴァーチ (1937-)

コヴァーチはハンガリー出身のクラリネット奏者。この曲はコヴァーチがアルゼンチン出身のクラリネット奏者でユダヤの伝統音楽クレズマーのスタイルでの演奏の第一人者であるギオラ・ファイドマン (1936-) に捧げた曲です。ショレム・アレイヘムとはイディッシュ語 (世界各地のユダヤ人に使われている言語) で“あなたに平和を”という意味です。クレズマー音楽に近い物として皆さんになじみのある曲はサラサーテの“チゴイネルワイゼン”、モンティの“チャルダッシュ”などだと思います。

この曲にもかなりの技巧を要しますが、FZ フォー・アレックスを聴いた後で聴くと簡単な曲に思えてしまいます。

<演奏時間 約6分>